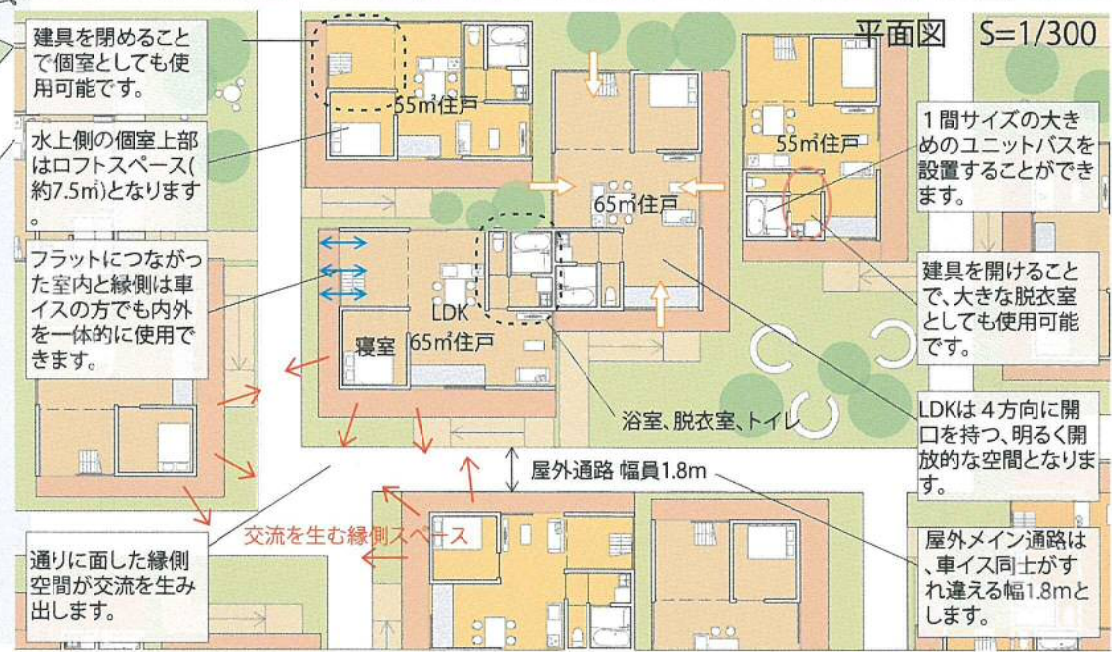




人と人との関係をつくる縁側

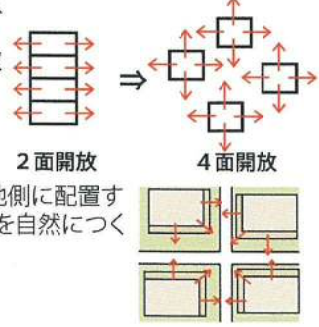
4面に開放されたリビングと縁側によりリズムと秩序をつくり、人と人との関係性をつくる

自然環境に恵まれた美浜らしい住まい



■コミュニティ形式への配慮

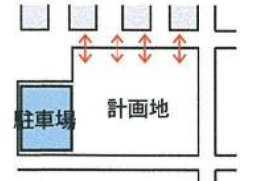
①従来の団地に多い、面一的・機械的な配置や、エントランス面とバルコニー面の表と裏の2面だけの開放という人との関わり不自由さを無くするために、「リビング」が4方向に開放し、関係がもてる間取りとなっている。



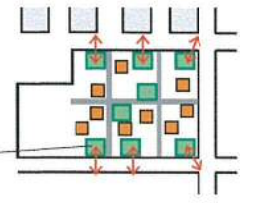
②①と合わせて縁側を路地側に配置することで、多くの住民と関係を自然につくれる配置としている。

■団地全体への配慮

①駐車を計画地北側にまとめて設けることで、既存住棟との連続性を確保している。



②共有の庭を計画地外周にも配置することで、新設住棟の住民以外も遊んだり、休憩したりと快



■木の活かし方

①木の縁側部分は、人に使われて風合いを増していき、やがて朽ちていきます。そのような木の素材を活かして受け継がれていく為に、世帯が住みかわった時に、伊勢神宮の式年遷宮のように、縁側部分を変えられるしくみ(住民参加とし、コミュニケーションの場とするなど)やディテールとします。

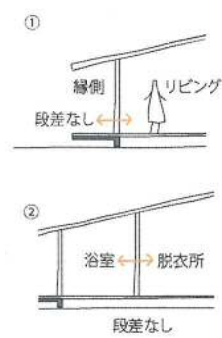


②木の材料は県産材を積極的に検討し、地域産業や木材産業の活性化を促します。建築土台には「ヒノキ」、柱には「スギ」といった、各部に適した材を選定することにより、建築の長寿命化を計ります。

■住みやすさ・省エネ

- ①. リビング4方向開放
- ②. コア壁面に収納可能
- ③. ロフトにも収納可能
- ④. 4方向に開口を持つことで風通しが良い
- ⑤. 軒があるので、夏の日差しを遮り、暑さを軽減する

■ユニバーサルデザイン、障害者・高齢者・既存住棟との関係

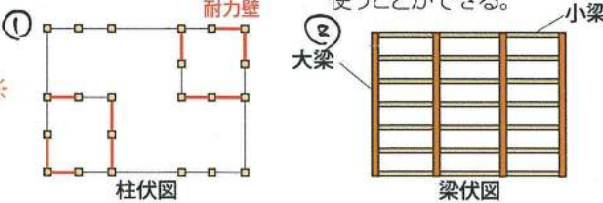


①ポーチとなる縁側部分にはスロープで上がることができ、室内と縁側をフラットにつなぐことで、車イスの方でも自分でも外に出ることができ、外での生活を楽しむことができます。

②浴室には既存住戸よりも大きめのユニットバスを選択し、浴室と脱衣所との段差をなくします。

■構造の明快さ

- ①コア内で耐力壁をとり、グリッド状に柱を並べる構造となっており、単純で明瞭なことから、職人にも理解されやすい。ため、今後の普及がしやすい仕様となっている。
- ②屋根の流れ方向に大梁を架け、大梁間をつなぐように小梁を架けることで、LDK内を無柱空間としている。大梁のスパンを6m未満に抑えることで一般流通材を使うことができる。



■子育て世帯など若い世代が入居したくなるような洗練されたデザイン

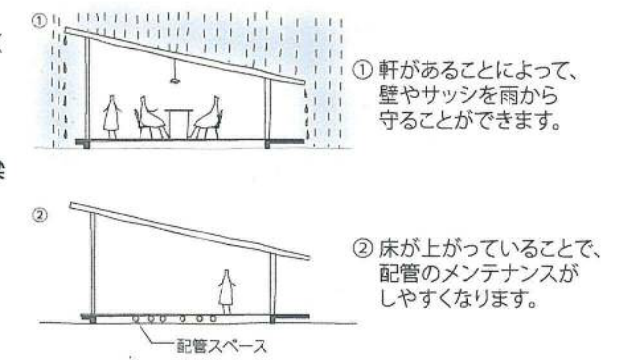
①プライベートからパブリックの空間の中で、4段階の居場所をつくることで住民は場所を選びながら、自由に住民同士の関係をつくることができます。



②各住戸ごとの片流れ屋根は、軽やかで開放的な印象を与え、また、美浜町の伝統的な住宅の外壁仕上げ「鍍金」に通じる「下見板張りの外壁」と「木の縁側」は、美浜町の住民に懐かしさを感じさせる、「現代的なイメージ」を持ちながら、「周辺環境と調和」する建築となります。

■維持・管理のしやすさ

- ①軒があることによって、壁やサッシを雨から守ることができます。
- ②床が上げられていることで、配管のメンテナンスがしやすくなります。



■美浜町の職人により今後普及できる仕様

同じシンプルなプラン、単純な間取りにより理解しやすく今後の普及に期待できる。



■自然災害への備え

- ①床が上げられていることで、台風時の豪雨から住民を守ることができます。
- ②西側250m先にある丘陵地などへの避難経路を確保しています。
- ③木の縁側が道に面し、多くの住民と関係を自然につくれる配置になっているため、住民同士の良好な関係ができ、協力しながら避難することができます。

